

名称等	沼津では初の試み! 沼津市「深海魚地産地消促進」×沼津高専「知財創造教育」 による幼児体験ワークショップ
実施日時	令和元年 10月 18日(金)、10時～12時
場所	中央幼稚園 2階遊戯室 (沼津市幸町 23-3)
担当	産業振興部 水産海浜課
	直通 055-934-4756 内線 2538 ※車でお越しの際等はお問合せ下さい。

1 開催概要

現在、本市が行っている「深海魚の地産地消事業」について、独立行政法人国立高等専門学校機構 沼津工業高等専門学校の天津孝佳電気電子工学科教授が取り組む「地域特性を活かした『知財創造教育プロジェクトの推進』」と連携して、幼児を対象に「日本一深い駿河湾」「生息する深海魚(深海生物)」といった沼津の地域特性を地産地消や食育にも絡めた学習の機会とする。本市での行政と沼津高専との事業連携及び幼稚園でのワークショップは初の試みとなる。

幼児たちには、知財創造教育の教材の1つである3Dブロックで創造性豊かに深海魚(深海生物)を作ってもらい、楽しみながら海や深海魚(深海生物)の魅力、面白さを学んでもらうとともに、プログラムロボットを活用して地産地消や食育について学習してもらう。



3Dブロック

※沼津市の「深海魚の地産地消」とは・・・

本市では、平成28年度から底引き網漁が盛んな戸田地区で漁獲されるも、従来は捨てられてきた未利用魚であった深海魚を、地域資源として活用していこうと「深海魚を活用した地域産業活性化事業」に取り組んでいる。これまでは、深海魚を主に観光資源として戸田地区の地域活性化を目指す事業として行ってきたが、今年度はこれに加え、「食材としての深海魚」に着目し『深海魚の地産地消PR』を進めている。

※沼津高専が取り組む「知財創造教育」とは・・・

昨今、地域特性を理解し、地域企業・自治体の課題を発見してアイデアを集結し課題解決能力を持った人材が求められている中で、知財マインド(創造)の育成として、幼稚園や小学校低学年への知財創造教育を実施し、将来的に多様な分野において活躍できる人材の育成を目指している教育。

2 内容

対象

中央幼稚園年中児 45名(男児 21名、女児 24名)

テーマ

※本ワークショップに参加する園児の報道における放映・掲載の許可は得ています。
「ある日、千本浜海岸でプログラムロボット『アリロくん』に出会いました。
『アリロくん』はおなかぺこぺこです。『アリロくん』の好きな食べ物は、海のお魚や海藻です。特に、深海魚(深海生物)はエネルギーが豊富で大好物のようです。
さあ、皆が3Dブロックで作った深海魚(深海生物)を料理して、『アリロくん』にご馳走してあげましょう！」



プログラムロボット『アリロくん』

ステップ1: 海の創造教育(食材探し)

駿河湾沼津沖の深海の映像(沼津高専の「深海の映像調査」より提供)を視聴した後、3Dブロックで深海魚(深海生物) [=食材] を作る。

ステップ2: 地産地消と食育(食材から料理作り)

3Dブロックで深海魚(深海生物) [=食材] を作った後、作ったものをバラバラにして、再度ハンバーグやお寿司など [=料理] を作ってみよう。

ステップ3: プログラムロボットに関心を持つ(幼稚園から始めるプログラム教育)

シートの上を動くプログラムロボット『アリロくん』がゴールに向かって上下左右に進んでいく。ゴールには皆が作った料理を置き、園児たちは『アリロくん』がどのようにすればご馳走までたどり着けるかを学習する。プログラミング学習への関心・理解を深めていく。